

助成事業実施報告書

団体名.....自立援助ホーム 慈泉寮
代表者・役職名 氏名.....寮長 平井誠敏

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

男女浴室脱衣所の改修工事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成3年1月、名古屋市より施設整備資金の一部補助を受け、市内昭和区駒方町にあった法音寺学園・日本福祉大学の旧学生寮建物を一部改装して居室として整備し、男子のみ10名定員で開所。平成9年に昭和区福江に新築移転をして、現在は男子4名、女子4名、計8名定員で運営しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

浴室に関しては以前改修工事を行いました、脱衣所は開設当初よりそのまま使用しています。壁には穴が開き、それを簡易的に補修するなど見栄えも悪く、長年の使用から床なども黒く汚れてしまい、衛生面においても気に掛かっている状況です。このようなことから浴室脱衣所の改修工事を執り行い、入居者が安心して快適に使用できるようにできればと考えております。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

天井、壁、床について、長年の使用から汚れがひどく、壁にも穴が空いている状態のため、ボードとクロスの張り替え、出入り口の塗装等を行うことで脱衣所の雰囲気を変え、清潔感のある空間にしたいです。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

改修工事を行ったことで、脱衣所が各段に明るくなり、より一層清潔感が増しました。以前は脱衣所にゴミや洗濯物を放置したままにしてしまう入居者が見受けられましたが、改修後は不思議とそのようなことが無くなりました。こうした環境の変化が自然と子どもたちの心にも影響を与えているのだと実感することができております。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回のプロジェクトにより、環境の変化が子どもたちに大きな影響を与えるということを改めて実感致しました。言葉で伝えるだけが支援ではなく、“親の背中を見て育つ”というように入居者が安心して生活できる環境作りを行っていくことも大切だと考えております。施設内を清潔に保ち、子どもたちが安心して快適に過ごすことができるよう、今後も直接的な支援だけではなく、環境整備等も含め、幅広い支援を展開していきたいと考えております。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

施工前



施工後

